

令和4年度 静岡県公立高等学校入学者選抜

学力検査結果等の報告書

I	学力検査結果等の概況	・・・・・・・・	1
II	各教科及び作文の概況		
	国	語	・・・・・・・・ 5
	数	学	・・・・・・・・ 6
	英	語	・・・・・・・・ 7
	社	会	・・・・・・・・ 8
	理	科	・・・・・・・・ 9
	作	文	・・・・・・・・ 10

令和4年6月

静岡県教育委員会

I 学力検査結果等の概況

1 学力検査等の実施

一般選抜は、令和4年3月3日（木）及び3月4日（金）に、全日制の課程では92校（分校等も1校と数える。）、定時制の課程では20校（学年制17校、単位制3校）で実施した。学力検査は3月3日（木）に実施し、全日制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科について行い、学年制による定時制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科及び作文の中から、学校が必要な教科等を選択して行った。単位制による定時制の課程では、国語・数学・英語・社会・理科の5教科又は作文により実施した。

なお、一般選抜と同日に実施した特別選抜のうち、海外帰国生徒選抜は15校、長期欠席生徒選抜は2校、連携型選抜は3校、県外生徒特色選抜は1校において、一般選抜と同様に5教科の学力検査を実施した。外国人生徒選抜を実施した9校においては、日本語基礎力検査を実施した。

検査当日、病気その他やむを得ない理由によって検査を受けられなかった者に対する追検査は、3月10日（木）に実施した。さらに、再募集を3月22日（火）に実施し、全日制の課程並びに学年制及び単位制による定時制の課程において、作文又は小論文を学校が選択して行った。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る追加検査は3月17日（木）、追加検査（二次）は3月22日（火）に実施した。

この報告書においては、3月3日（木）に実施した学力検査及び作文について報告する。

2 検査教科と検査時間

表1

教科名		国語	数学	英語	社会	理科
実施時刻	開始	9:05	10:10	11:15	12:55	14:00
	終了	9:55	11:00	12:05	13:45	14:50
検査時間		50分	50分	50分	50分	50分

※ 定時制の課程において作文を実施した学校では、国語と同一の時間に実施した。

3 学力検査及び作文問題の出題方針

学力検査問題は、次の方針に基づいて出題した。

5教科の検査問題は、中学校までの学習内容を踏まえた、基礎的・基本的なものとし、各教科の目標に即して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を広く検査できるように出題した。

また、作文問題については、受検者の身近な問題を題材として5つの作文題を示し、各実施校がこの中から2～3題を選んで出題し、受検者はその中から1題を選んだ。

4 学力検査及び作文受検者数（追検査受検者を含む。）

表 2

	令和 4 年度	令和 3 年度
全日制の課程	19,116 人	18,703 人
学年制による定時制の課程	239 人	267 人
単位制による定時制の課程	439 人	411 人
合 計	19,794 人	19,381 人

5 学力検査結果の教科別平均点、標準偏差及び得点分布

(1) 各教科の検査結果の平均点（50 点満点）及び標準偏差

表 3

	令和 4 年度		令和 3 年度	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
国 語	34.90	7.26	31.81	7.19
数 学	24.64	9.44	22.39	8.54
英 語	31.92	11.16	26.85	9.56
社 会	29.41	9.79	30.47	9.44
理 科	26.98	9.90	27.53	9.99
実施校数	92 校		93 校	

※ 分校等を 1 校と数える。全日制の課程のみ。

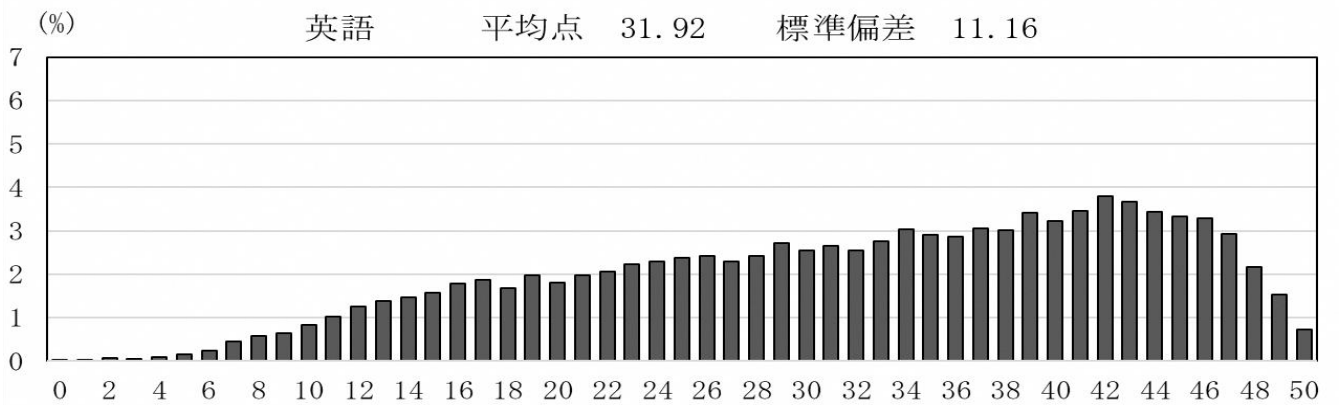
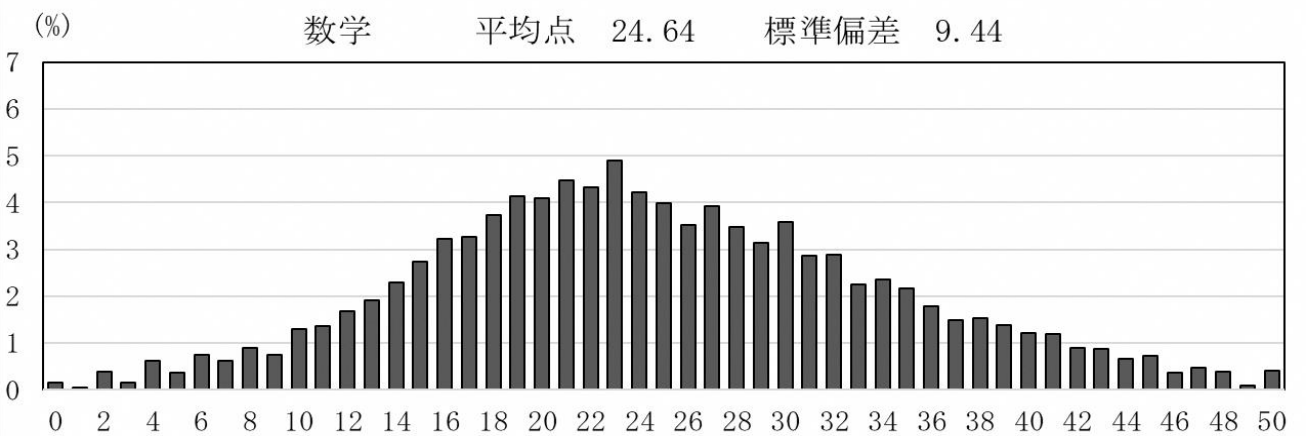
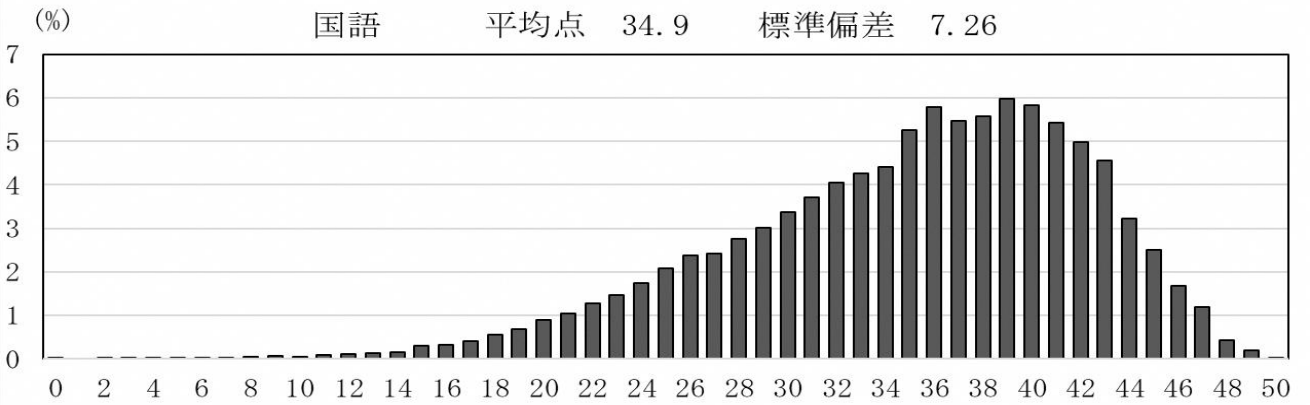
(2) 各教科の得点分布

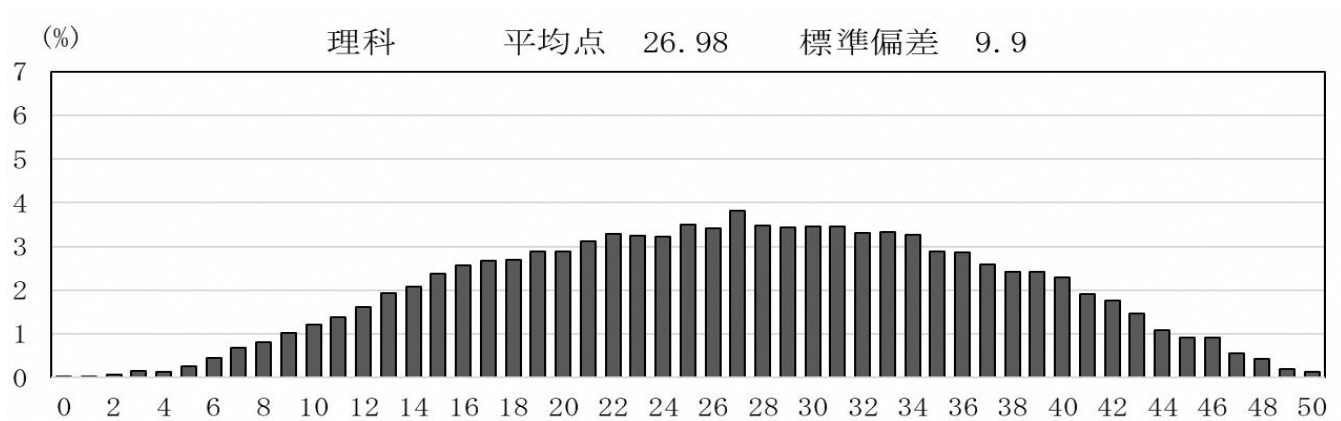
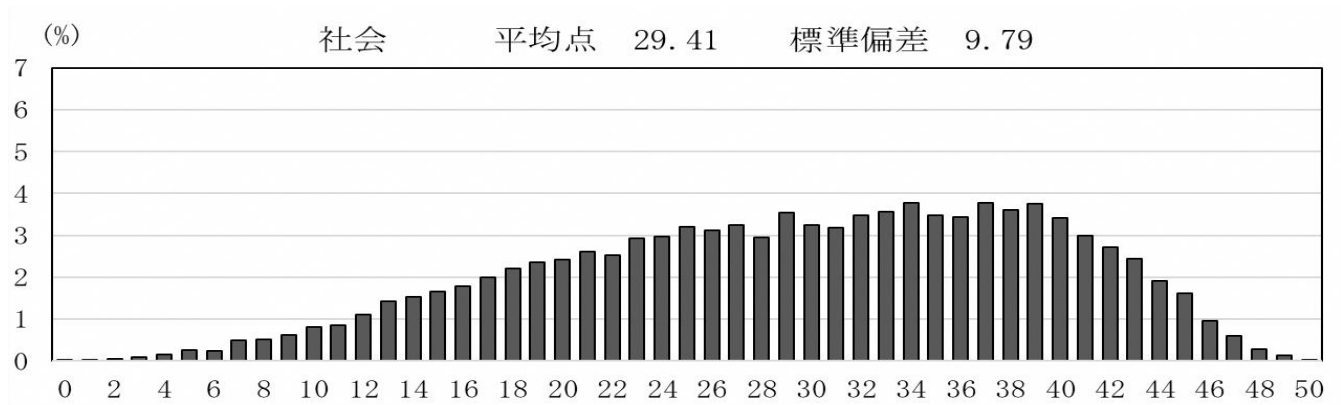
(%) 表 4

得 点	国 語		数 学		英 語		社 会		理 科	
0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～5	0.1	0.1	1.5	1.8	0.4	0.2	0.5	0.4	0.6	1.1
6～10	0.2	0.3	4.3	5.1	2.7	3.2	2.7	2.0	4.2	4.0
11～15	0.8	1.6	10.0	13.4	6.7	10.5	6.6	4.8	9.4	8.1
16～20	2.9	4.9	18.5	22.5	9.1	15.3	10.8	9.3	13.7	12.5
21～25	7.6	12.0	21.9	23.2	10.9	16.3	14.2	13.1	16.4	15.9
26～30	13.9	21.6	17.7	16.6	12.4	16.1	16.1	17.4	17.6	17.5
31～35	21.7	26.4	12.5	9.9	13.9	16.4	17.5	18.9	16.3	16.7
36～40	28.6	22.3	7.4	4.7	15.5	14.2	18.0	18.4	12.6	13.9
41～45	20.7	9.8	4.4	1.9	17.7	6.8	11.7	12.9	7.1	8.1
46～49	3.5	1.1	1.3	0.5	9.9	0.9	2.0	2.8	2.1	2.1
50	0.0	0.0	0.4	0.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1

※ 右列は令和 3 年度。全日制の課程のみ。

(3) 各教科の得点分布グラフ





6 各教科の小問別正答状況

全受検者の中から約 1/50 を抽出し、各教科の小問別正答状況を調査した。その結果は、「Ⅱ 各教科及び作文の概況」において示す。

国 語

1 出題のねらい

一では話の展開や登場人物の心情を、表現の仕方に注意して読み取ることができるかをみる。
 二では筆者の考えを文章の展開に即して的確に把握する力をみる。三では社会生活に必要な、言葉によって伝え合う力をみる。四では平易な古文を読んで、話の内容をとらえることができるかをみる。五では自分の考えを文章で適切に表現する力をみる。

2 解答の状況

設問番号	解答の特徴と誤答例	正答率	
一	問一 ㉞ 非常によくできている。	98.7	
	問一 ㉟ 非常によくできている。	100.0	
	問一 ㊱ 非常によくできている。	96.1	
	問二	非常によくできている。	98.2
	問三	誤答では、「ハセは持ち」などがみられる。	58.9
	問四	よくできている。	83.5
	問五	「僕」が「もじもじしている」理由を的確にとらえることができている不十分な解答が多い。	53.1
問六	よくできている。	87.7	
二	問一 ㉞ よくできている。	86.1	
	問一 ㉟ 非常によくできている。	95.4	
	問一 ㊱ よくできている。	71.2	
	問二	誤答では、「アとオ」が目立つ。	26.2
	問三	よくできている。	76.9
	問四	非常によくできている。	96.7
	問五	誤答では、「自分の感性」が目立つ。	62.1
問六	文章の展開に即して内容をとらえることができている不十分な解答が多い。	45.2	
三	問一	誤答では、「身」などがみられる。	49.9
	問二	非常によくできている。	92.7
	問三	誤答では、「本を紹介する」「紹介を」がほぼ同数みられる。	68.0
	問四	よくできている。	78.4
	問五	図書委員会が伝えたかった内容を適切な言葉で表現することができていない不十分な解答が多い。	44.6
四	問一	非常によくできている。	93.3
	問二	よくできている。	71.7
	問三	「小倉山の色紙」一枚の価値を適切に表現できていない不十分な解答が多い。	68.8
	問四	宗祇がとった行動を的確にとらえることができている不十分な解答が多い。	54.9
五	自分の立場を明確にして意見を述べようとする姿勢がみられる。自分の意見の根拠は示されているが、説得力を持つ文章となっていないものが多い。	53.6	

数 学

1 出題のねらい

1と2では数と式、図形、関数及び確率に関する基礎的な力を、3と4では身近な事象を数学的にとらえる力を、5と6では空間図形及び関数についての理解の程度を、7では平面図形について論理的に考察する力を、それぞれみることにねらいを置いた。出題に当たっては、数学的活動を通して、事象を数学的にとらえ、表現し、考察処理する過程をみることができるようにした。

2 解答の状況

設問番号		解 答 の 特 徴 と 誤 答 例	正答率
1	(1)	ア 非常によくできている。	97.2
		イ 非常によくできている。	92.8
		ウ 非常によくできている。	93.3
		エ よくできている。	73.3
	(2)	よくできている。	88.2
	(3)	よくできている。	86.5
2	(1)	よくできている。	80.8
	(2)	誤答では、 $y = \frac{4}{x}$ が目立つ。	50.0
	(3)	誤答では、 $\frac{2}{5}$ が目立つ。	50.1
3	(1)	誤答では、1 2 が目立つ。	58.6
	(2)	正答率が低い。中央値や平均値を正しく理解していないものが多い。	10.5
4		数量関係の正しい立式ができていないものが多い。また、どのような数量を x や y で表しているのかを明記していないものも目立つ。	38.5
5	(1)	誤答では、4 が多い。	60.7
	(2)	誤答では、4 8 や 1 4 4 π などがみられる。	35.0
	(3)	正答率が低い。無答も多い。	5.7
6	(1)	よくできている。	73.5
	(2)	誤答では、 $y = -3x + 3$ などがみられる。	61.8
	(3)	正答率が低い。問題を解くのに必要な点の座標を正しく求められないための誤答が目立つ。無答も多い。	18.1
7	(1)	三角形の相似条件「2組の角がそれぞれ等しい」において、 $\angle ADG = \angle EBC$ は説明されているが、もう1組の対応する角が等しい理由について、論理の飛躍しているものや説明の不十分なものが目立つ。	23.7
	(2)	正答率が低い。誤答では、3 8 などがみられる。無答も多い。	12.1

英 語

1 出題のねらい

1では英文を聞いて、具体的な内容や大切な部分をとらえることができるかをみる。2では対話文を読んで、話の流れや要点を的確に把握できるかをみる。3では相手に伝えたい考えや気持ちを、4では相手に伝えるべき事柄を、英語で表現する力をみる。5では物語形式の英文を読んで、話の展開や中心となる事柄を的確に読み取る力をみる。

2 解答の状況

設問番号	解答の特徴と誤答例		正答率
1	(1)	A よくできている。	88.7
		B よくできている。	80.2
		C 非常によくできている。	94.3
		D よくできている。	89.5
	(2)	1 非常によくできている。	96.7
		2 誤答では、㊸を clean としたものが多。	53.3
3 話の内容を正確に聞き取れていないための不十分な解答が多。		63.9	
2	(1)	A よくできている。	89.7
		B 非常によくできている。	92.0
		C よくできている。	84.3
	(2)	㊸ 誤答では、アが多。	63.0
		㊹ よくできている。	82.5
		㊺ よくできている。	84.3
	(3)	誤答では、エアオウイなどがみられる。	29.0
(4)	既習の語句や表現形式を用いて解答しているものが多い。	57.8	
(5)	話の内容を的確にとらえていないため、適切な部分を抜き出すことができていないものが多い。	30.3	
3	(1)	会話の流れを踏まえていないための不十分な解答が目立つ。	45.4
	(2)	会話の流れは踏まえているが、伝えたいことが的確に表現できていない不十分な解答が目立つ。	39.8
4	既習の語句や表現形式を用いて、伝えるべき内容を積極的に書こうとする姿勢がみられる。		51.8
5	(1)	㊸ 誤答では、taked が多い。	73.5
		㊹ よくできている。	85.6
	(2)	① 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多。	67.9
		② 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多。	38.6
	(3)	誤答では、アが多。	71.5
	(4)	誤答では、エが多。	59.1
	(5)	話の内容を的確にとらえていないための誤答が多。	50.1
(6)	話の内容を的確にとらえていないための誤答が目立つ。	34.8	
(7)	誤答では、ウが多。	57.1	

社 会

1 出題のねらい

1では日本の歴史における政治や社会の特色、2では自然環境や産業などからみた日本の特色、3では国際社会の動向と特色、4では国民生活と政治・経済とのかかわりについて、それぞれ出題した。出題に当たっては、社会的事象に対する関心と理解の程度をみるとともに、多様な資料に基づいて考察し、表現する力をみるようにした。

2 解答の状況

設問番号	解答の特徴と誤答例		正答率		
1	(1)	a	誤答では、「後鳥羽上皇」などがみられる。	70.4	
		b	誤答では、アが多い。	66.1	
	(2)	誤答では、「平家物語」が目立つ。		68.9	
	(3)	a	誤答では、アが多い。	62.5	
		b	領地への影響について適切に記述していない不十分な解答が多い。	30.8	
		c	誤答では、「摂関政治」が目立つ。	52.7	
	(4)	a	よくできている。	78.4	
		b	ポルトガルが支援した理由を適切に記述していない解答が多い。	35.6	
	(5)	誤答では、「イ→ウ→ア」が多い。		57.6	
	(6)	a	綿花の輸入の割合が上がった理由を適切に記述していない解答が多い。	35.1	
		b	誤答では、ウ、エが多い。	68.4	
	(7)	a	誤答では、イが多い。	56.0	
		b	総会における加盟国の投票権について適切に記述していない解答が多い。	27.5	
	2	(1)	a	非常によくできている。	98.2
b			誤答では、「扇状地」が多い。	56.8	
(2)		誤答では、アが多い。		66.3	
(3)		よくできている。		85.9	
(4)		国内生産量の誤答では、ア、ウが多い。輸入量の誤答では、エが多い。		64.5	
(5)		a	よくできている。	78.9	
		b	表から読み取れることについて適切に記述していない不十分な解答が多い。	61.4	
(6)	理由について適切に記述していない解答が多い。		64.7		
3	(1)	誤答では、ウ、エが多い。		72.2	
	(2)	a	よくできている。	74.8	
		b	誤答では、「8月4日2時」が多い。	58.1	
	(3)	a	よくできている。	84.6	
		b	日本の商業・サービス業が東南アジアに進出する理由を適切に記述していない解答が多い。	21.7	
	(4)	記号	誤答では、イが多い。	73.0	
理由		㊸の生産量が増えている理由を適切に記述していない解答が多い。	49.6		
4	(1)	a	誤答では、「小選挙区比例代表並立」が目立つ。	54.5	
		b	誤答では、ア、エが多い。	71.7	
		c	誤答では、「国事」などがみられる。	71.0	
	(2)	a	誤答では、エが多い。	50.5	
		b	名称	誤答では、「公共価格」「均衡価格」が目立つ。	55.0
			理由	価格の決定・認可に政府などが関わり価格の上昇などを規制する理由を適切に記述していない解答が多い。	60.2
	(3)	資料とグラフを基に、国が地方自治に関する改革で行った財政面での改革のねらいを適切に記述していない不十分な解答が多い。		55.6	

理 科

1 出題のねらい

1は基礎的・基本的な事項、2はいろいろな生物とその共通点、生物の体のつくりとはたらき及び自然と人間、3は電流とその利用及び運動とエネルギー、4は大地の成り立ちと変化、5は地球と宇宙、6は身の回りの物質及び化学変化とイオンに関する問題である。出題に当たっては、観察や実験に重点を置き、自然の事象について、知識や理解の程度及び科学的に考察する力をみるようにした。

2 解答の状況

設問番号	解答の特徴と誤答例		正答率
1	(1)	非常によくできている。	85.9
	(2)	誤答では、ア、エが目立つ。	60.2
	(3)	化学変化の前後で原子の種類と数が等しくなることを理解していないための誤答が多い。	62.0
	(4)	陸上と海上の気圧の違いを正しく理解していないための誤答が多い。	45.6
2	(1)	① 非常によくできている。	94.3
		② ㉞の誤答では、「感覚」などがみられる。㉟の誤答では、「反射」などがみられる。	63.8
		③ 卵のつくりが陸上の生活環境に適している理由を適切に記述していない誤答が多い。	61.1
		④ 食物連鎖の食べる・食べられるの関係を正しく理解していないための誤答が多い。	52.2
	(2)	理由では、実験結果に基づいて考えることができていない誤答が目立つ。	59.3
	(3)	動物は有機物を取り入れることが必要であるが、有機物をつくることのできるのは生産者だけであることを正しく理解していないための誤答が多い。	22.6
3	(1)	① 誤答では、「非電解質」が多い。	53.0
		② 誤答では、イが目立つ。	67.4
	(2)	① 誤答では、「イ、エ」が多い。	43.2
		② よくできている。	80.2
	(3)	① 電圧計のつなぎ方を正しく理解していないための誤答が目立つ。	70.2
		② 電熱線の消費電力と水の上昇温度の関係を正しく理解していないための誤答が多い。	46.7
③ 誤答では、「15」が目立つ。		13.9	
4	(1)	よくできている。	76.6
	(2)	① 非常によくできている。	96.9
		② よくできている。	77.4
③ 誤答では、「1.8」が目立つ。		12.3	
5	(1)	① 非常によくできている。	85.1
		② 月食が起こるしくみを正しく理解していないための誤答が多い。	57.6
	(2)	① 誤答では、「b→a→c」が多い。	38.8
		② 誤答では、イが目立つ。	51.7
6	(1)	① よくできている。	74.0
		a 試験管Qに集めた気体は二酸化炭素の性質を調べる実験には適さない理由を正しく理解していないための誤答が多い。	59.9
		b 下方置換法で集めることができる理由を正しく理解していないための誤答が多い。	68.1
		c 誤答では、エが目立つ。	63.8
	(2)	① 誤答では、「15」などがみられる。	62.2
		② 非常によくできている。	87.7
		③ 誤答では、「2n」「6n」などがみられる。	23.1
		④ 誤答では、「5」が多い。	14.1

作 文

1 作文題名の選択状況

作 文 の 題 名	選 択 した 学 校 数	選 択 者 数	受 検 者 数 対 する 選 択 者 数 の 割 合
一 中学校生活で感動したこと	0 校	0 人	0.0 %
二 高校生活に期待すること	11 校	72 人	42.9 %
三 私の得意なこと	10 校	66 人	39.3 %
四 心に残る人	3 校	13 人	7.7 %
五 あいさつのよさについて	4 校	9 人	5.4 %
その他（注）	/	8 人	4.8 %
計	実 施 した 学 校 数 12 校	受 検 者 数 168 人	100 %

（注）指定外の題名で書いた者 4 人。2つの題名を選んだ者 4 人。

2 概 評

(1) 内 容

- ・「高校生活に期待すること」では、新しい生活を前に決意を述べているものが多かった。勉強について述べたものが目立つが、人間関係について述べたものもみられた。
- ・「私の得意なこと」では、趣味について述べたものと、長所について述べたものがみられた。
- ・「心に残る人」では、学校行事における人びととのあたたかい交流の体験から学んだことを述べたものがみられた。
- ・「あいさつのよさについて」では、抽象的な内容にとどまるものもあったが、学校生活での体験を踏まえ、あいさつの円滑な人間関係への効用を述べたものもみられた。

(2) 表現・表記

- ・ひらがなの多用や誤字、脱字の多いものがみられる。
- ・原稿用紙の使い方、句読点の打ち方など、文章を書く上で基本となる事項を習得していないものが目立つ。
- ・書き言葉と話し言葉との区別、主述の呼応などに不適切なものがみられる。
- ・文章の構成や段落分けの意識がなく、思いつくままに文を書き連ねているものがみられる。